

ねずみ女房

～The MOUSEWIFE～

by RUMER GODDEN

「ねずみ女房」

原作 ルーマー・ゴッデン

福音館書刊より



どんなしあわせを
あなたは選びますか

出演者 / きじばと ・ 中村孝男 (人形劇団ひとみ座)
ねずみ女房・永野むつみ
夫 ・ 大沢直
歌 / 娘 ・ 戸前優子 (フリー)



2025年4月5日(土) 2ステージ ① 14:00 開演 / ② 18:00 開演 (上演時間60分)

くにたち市民芸術小ホール 地下一階音楽練習室(自由席)

< 最寄り駅 >

JR南武線矢川駅または谷保駅 (両方とも徒歩10分)

JR中央線国立駅から立川バス「市民芸術小ホール・総合体育館前」バス停下車3分

料金 前売りおとな 2,500円 高校生以下 1,000円 当日おとな 3,000円

追加公演

6日(日) 11:00 開演

チケットの申し込みはこちら▶



ハート・アート・パペットシアター

～モノと人形を駆使した演劇の魅力が東京に集まる～



主催 / 一般社団法人全国専門人形劇団協議会・一般社団法人人形劇団ひばたあむ

助成 / 公益社団法人東京歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

(「ハート・アート・パペットシアター～モノと人形を駆使した演劇の魅力が東京に集まる～」参加プログラム)



The MOUSE WIFE

「ねずみ女房」

原作 / ルーマー・ゴッデン (福音館書店刊)

脚色 / いずみ凛

演出 / 三由寛子

音楽 / 足立裕子

舞台美術 / 三木元太 (東京演劇アンサンブル)

人形美術 / 大沢直

照明 / 真壁知恵子 (東京演劇アンサンブル)

音響オペレーター / 相川麻衣

映像オペレーター / 花岡沙織

制作 / 永野むつみ

ねずみ女房
~The MOUSEWIFE~

これからおとなになるあなたに贈る人形劇——

あるところに家族のために毎日毎日食べ物を探して、掃除して、走り回る小さなねずみがありました。働くことは苦になりませんでした。「何か足りないもの」があるような気がしていました。ある日、彼女は鳥かごに入れられたきじばとと出逢います、、、、。



人形劇団ひぽぽたあむの人形劇は——

おもに片手遣いの人形で演じられます。俳優は衝立の後ろに隠れ、観客の皆様には人形しか見えません。古くからある形式ですが、観客の想像力をかきたて、心に直接訴える力があり、その世界は深く豊かです。生の人間ではない「人形」だからこそそそかえて人間の世界を深く描き出すことができ、人形劇ならではの世界があると私たちは信じています。そして小さな人形たちの魅力を堪能していただくために、観客と俳優、また観客どうしが感じ合える距離と人数でご覧いただきたいと念じています。



〒183-0016 東京都府中市八幡町 2-19-6 オークヒルズ府中 303

TEL 042-369-1246 FAX 042-369-0644

Eメール hipopo@xvf.biglobe.ne.jp

URL <http://hipopotaamu.com>

人形劇団 ひぽぽたあむ



ひぽぽたあむはどこへでもでかけます！